

175 遺念火と相撲

火事に焼かれた方が、部落の外れに葬られて、その何が成仏しないで、火になってですね、ずっと前のほうに現われて。こちらの昔の話ですよ、これは。

その、夜遊びに出る若い連中、田舎あたりは夜遊びに出るんですよ、若い連中は。その灯り火ですがね、人間に現われて、相撲を取ったりしていたらしいですよ。これをマージャーといっていますね。遺念火ですね。遺念火に現われて、その火がものを言うていたらしい。人間に現われて。青年たちといっしょに相撲を取っていたらしいですよ。もう、夜遊びする青年たちといっしょに遊んで。

夜明けになって、鳥が歌ったらね、

「ああ、もう鳥が歌うから、もう帰ろう」なんて帰りましたよ。